

掘った！わかった！

富士見市立 水子貝塚資料館

# 富士見市の遺跡

## — 平成30年間の発掘調査 —

富士見市は、都心から30km圏内のベッドタウンとして、昭和の高度成長期の頃から街づくりとして開発が行われてきました。これらの開発事業から貴重な文化財を保護するため、発掘調査や史跡整備などが行われてきました。

当館では発掘調査体制が整えられた昭和47年から30年後の平成14年度の企画展「富士見の発掘30年」において、市内での遺跡の把握やそれまでに行った調査について紹介しましたが、その後も発掘調査は数多く行われ、その結果、市内の遺跡について、多くの情報を得ることが出来ました。

そこで今回の企画展では、新駅の開業に併せた土地区画整理事業などが行われ、市内でさらに開発が進んだ平成の30年間に於いた発掘調査をテーマに、見つかった資料、当時の調査風景などから、変化する市内の風景等についても紹介します。

今回の展示で遺跡のまち富士見市について知っていただく機会となれば幸いです。

### 紹介する主な市内の遺跡

- 中沢・外記塚遺跡  
(勝瀬原土地区画整理地内)
- 稻荷前・宮廻遺跡(勝瀬地区)
- 権平沢遺跡(鶴瀬地区)
- 殿山・宿(多門氏館跡)遺跡(諏訪地区)
- 氷川前・観音前・東台遺跡(水子地区)
- 北通遺跡(針ヶ谷地区)
- 水子貝塚・難波田氏館跡  
(史跡公園に整備された遺跡) ほか



中沢遺跡から建築中のふじみ野駅方面(平成4~5年)



調査中の中沢遺跡からふじみ野駅西口方面(平成6年)



ふじみ野駅西口駅前で調査中(平成8~9年)

ふじみ野駅前の発掘調査の様子と、区画整理事業で変わっていった周囲の風景(勝瀬原土地区画整理地内の中沢遺跡)



縄文時代早期・打越式土器  
(氷川前遺跡)



縄文時代中期・加曾利E式土器  
(中沢遺跡)



弥生時代後期・壺型土器  
(氷川前遺跡)



古墳時代後期・甕と坏  
(観音前遺跡)



平安時代・須恵器高盤  
(北通遺跡)

富士見市立 難波田城資料館

— 同時に開催中 —

平成31年度春季企画展 **平成史 in 富士見市**

会期：3月9日(土)～6月9日(日)

会場：難波田城資料館 富士見市大字下南畑568-1 Tel 049-253-4664